

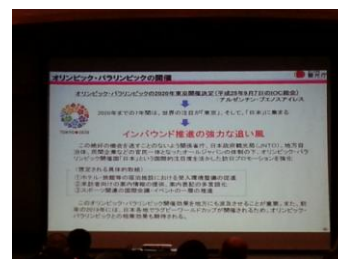


◆ 11月のトピックス

○ 第2回スポーツツーリズム・カンファレンスに参加（10月31日～11月1日：東京）

東京で開催された第2回スポーツツーリズム・カンファレンス〔主催：一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構（JSTA）後援：観光庁・2020東京オリンピック・パラリンピック招致委員会〕に参加しました。当カンファレンスではオリンピック誘致委員会で直接誘致活動に携わった馳浩氏（衆議院議員・2020東京オリンピック・パラリンピック東京大会実施本部長）、大塚眞一郎氏〔(公社)日本トライアスロン連合専務理事〕の誘致活動の際の苦労話や誘致決定後の日本の取り組み等について講演がありました。

また、分科会では産学官の有識者による「オリンピックと日本のスポーツツーリズム」と題したディスカッションが行われ、2020年を迎えるまで、またそれ以降の対応について活発な議論が行われました。



なお、当機構におきましても平成26年1月24日（金）福岡において、一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構（JSTA）主催、機構共催による「JSTA観光・地域づくり委員会 in 九州」を開催する予定です。詳細が決まり次第、機構ホームページに掲載します。

○ 香港旅行社を招請（11月4日～9日：福岡、長崎、熊本、鹿児島）

キャセイパシフィック航空／ドラゴン航空の指定旅行会社15社15名を招請しました。果物狩りや砂むし温泉、観光列車に加え、今回はJRパスの購入方法及びレンタカーの借り方についての説明や、魚市場視察等のFIT向けの観光素材の視察を行い、FITも楽しめる観光地としての九州の魅力を体験してもらいました。

※ FIT = Foreign Independent Tour (Travel) : 海外個人旅行

○ 福岡地域サミット2013にブースを出展（11月5日：福岡）

福岡地域戦略協議会主催の「福岡地域サミット2013」が福岡市シーホークホテルで開催されました。その中で九州観光推進機構のブース出展を行い、機構の取り組みと九州の観光紹介や九州オルレについて展示しました。会議では観光部会会長でもある石原会長がはじめに挨拶、その後パネルディスカッションでは活発な議論がなされました。



○ ハナツアー新入社員研修で講演（11月6日:福岡）

韓国の大手旅行会社ハナツアー様の新入社員研修が福岡市にて開催され、九州観光推進機構高橋本部長が特別講演を行いました。昨年まではハナツアー様の新入社員研修は中国にて行われていましたが、今回九州開催誘致が実現したものです。早朝から深夜までハードなスケジュールの中にも関わらず、社員の皆様はとて熱心に受講されていました。



○ 2013年度「第2回評議員会」「第2回理事会」を開催（評議員会11月7日、理事会14日:福岡）

11月7日開催の2013年度「第2回評議員会」を経て、下記の議案が14日の理事会において審議の結果、原案どおり承認されました。

<議案：審議事項>

- ・2013年度事業計画追加(案)、2013年度補正予算(案)、役員の選任(案)、評議員の選任(案)、顧問委嘱(案)、観光アドバイザー委嘱(案)、新規入会会員の承認 以上7件

<報告事項>

- ・2013年度事業実施状況
- ・「第二期九州観光戦略 第一次アクションプラン」
- ・「一般社団法人化」 以上3件



(第2回理事会)

○ 旅フェア2013に出展（11月8日～10日:東京）

日本最大級の旅の総合見本市「旅フェア」に出展し、九州の魅力的な観光資源をPRしました。Ipadを活用した旅診断(コース紹介)、各県によるPR・ゆるキャラ紹介、各県を題材としたクイズ大会、航空会社の客室乗務員も加わっての航空キャンペーン等多彩な企画で、ブースには多くの人で賑わいました。



○ 台湾人気ブロガーを招請（11月11日～17日:福岡、長崎、熊本、鹿児島）

台湾人に人気のあるブロガー「^{りんしへき}林氏璧」氏を招請し、九州各地の取材をしてもらいました。林氏はブログ以外にもフェイスブックによる情報発信も行っており、各取材先からすぐに情報を掲載してもらいました。記事によっては「いいね!」の数が8,000件を超えるものもあり、多くの方からの反響がありました。



○ ニューヨークのメディア・イベントに参加（11月14日：ニューヨーク）

在ニューヨーク日本国総領事大使公邸において、J N T O ニューヨーク事務所及び在ニューヨーク日本国総領事館が主催する第1回メディア・イベントに参加しました。同イベントでは、現地メディア及び観光関係者118名に対し、J R 九州のななつ星、焼酎などを含む九州に特化した観光説明会、懇親会等が行われ、訪米中の熊本県 蒲島知事による観光プレゼンテーションも披露されました。



○ タイのマスコミ(テレビ局)を招請（11月15日～21日：福岡、佐賀、長崎、熊本、大分）

タイで全世界旅行番組を制作・放映する「Travel Chanel」の取材班を招請し、F I T 旅行向けの九州観光素材を取材しました。1月下旬から30分×5話で放送を予定しています。

○ 九州・沖縄地方産業競争力協議会に参加（11月19日：福岡）

官民が一体となって九州・沖縄地域の経済成長を目指す「九州・沖縄地方産業競争力協議会」が福岡市のホテル日航福岡にて開催されました。会議では石原会長が観光分野におけるこれまでの九州の取り組みと今後の九州観光戦略について発表を行いました。各県知事、各業界の代表の出席者で議論がなされ、農林水産業・食品や観光など、オール九州で取り組む戦略分野を決め、本年度中に具体的な実施計画をまとめていくことになりました。



※ 九州・沖縄地方産業競争力協議会は、地域ブロックごとに設置を求めた政府の「日本再興戦略」を受けて設立された。山口県を含む9県と3政令指定都市、九経連、九州観光推進機構などが参加し、国の出先機関がオブザーバーを務めている。

○ 九州産業大学で特別講義を実施（11月21日：福岡）

九州産業大学にて九州観光推進機構高橋本部長が特別講義を行いました。これまでの10年間は「はじめて九州が一体で観光に取り組んだ10年」、これからは交流人口を拡大し、経済・雇用を活性化するため「観光産業を九州の基幹産業とする10年」とする、「これまで」と「今後」の九州の観光戦略について講義を実施しました。



受講生は商学部の三年生が多く、講義終了後に質問を多く受けるなどたいへん熱心な学生が目立ちました。

○ 第2回日韓観光団体交流会に参加（11月22日～23日：鹿児島(指宿)）

鹿児島県指宿市で開催された第2回日韓観光団体交流会に参加しました。同交流会は日本観光振興協会が韓国観光協会中央会を招聘して開催したもので、日本と韓国から合わせて26名が出席し、「両国の民間交流、地方観光交流の活性化について」意見交換を行いました。

また、翌日には、今人気の九州オルレ「指宿開聞コース」（一部コース）を参加者全員で散策し、開聞岳など素晴らしい風景を楽しめました。



○ 九州のチカラ創造フォーラムにてパネルディスカッションを開催（11月25日：福岡）

福岡市サンパレス大ホールにて九州のチカラ創造フォーラムが開催（日本青年会議所九州地区大会主催）され、九州観光推進機構高橋本部長がパネラーとして登壇しました。全国から若手経営者が多く集まり、九州が一体となって来年以降も力を合わせ日本経済に貢献していくこと等、熱い議論がなされました。

○ シンガポールのテレビ局で情報発信する九州観光番組制作の撮影取材を実施

（11月25日～30日：福岡、長崎、熊本、鹿児島）

シンガポールの旅行客に人気が高まってきているレンタカーで九州を巡る観光番組を制作するための撮影取材を行いました。シンガポールで有名な旅行番組「Japan Hour」の特別番組として1月下旬ごろの放送を予定しています。



○ 九州観光案内所スタッフ研修会を実施（11月26日～27日：福岡）

九州観光案内所の整備支援事業の一環として、九州内主要4観光案内所（福岡空港、博多駅、別府駅、鹿児島中央駅）間での情報交換や交流を図るため、案内所スタッフ向けの研修会を実施しました。

博多駅観光案内所の視察をおこなった後、各案内所毎に案内所・観光地の紹介と、班に分かれて案内所がお互いに連携出来ることのケーススタディをおこなうとともに、翌日には体験型研修として、オープントップバスの試乗や、福岡城でのバーチャル時空散策をおこないました。

今後も継続的な研修会を実施し、観光案内所間のさらなる情報交換と人的ネットワークの構築を図っていきたいと考えています。



○ 香港メディアを招請（11月26日～30日：福岡、大分、宮崎）

香港の活字媒体のメディア8社10名を招請しました。特に冷え込みの厳しい天候でしたが、降雪や霧氷を目にすることができ、被招請者にはとても印象的に映ったようです。



○ VJTM2013 に出展（11月27日～29日：横浜）

横浜において、JNTO主催で開催された訪日商談会ビジット・ジャパン・トラベル・マートに出展しました。旅行会社37社+メディア2社 計39社と面談し、九州の豊富な観光資源をPRしました。



○ 「第1回九州・アジアメディア会議」に出席（11月28日：福岡）

韓国、中国、インド、フィリピン、タイ、インドネシア、ベトナム、シンガポールの記者と九州各県の報道機関が出席して都市問題を論議する「第1回九州・アジアメディア会議」（国連人間居住計画（ハビタット）福岡本部等主催）が福岡で開催され、観光交流等について意見交換をおこないました。機構からは、石原会長が歓迎の挨拶をおこない、高橋本部長がアドバイザーとして出席しました。

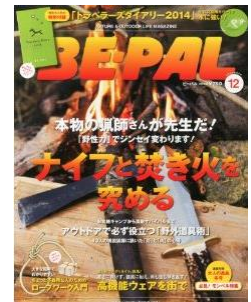


○ 小学館に取材協力（12月）

小学館の雑誌「BE-PAL」12月号（11月10日発売）の「駅から始まる物語」というコーナーで、北九州市の門司港を紹介する企画に協力しました。門司港トロッコ列車「潮風号」や、その沿線を歩いて、関門トンネルや関門海峡の展望など、門司港の多彩な魅力を紹介する内容となりました。

※「BE-PAL」…月刊／約12万部

※ 次号の同コーナーにて「九州オルレ 奥豊後コース」もご紹介するため、同時に取材を行いました。



◆ 九州観光推進機構からのお知らせ

○ 人事往来

12月に事業本部スタッフの人事異動がありましたので、よろしくお申し上げます。

【転入者】 [] 内は派遣元

海外誘致推進部主任 王 珪 [株 JTB九州]

○ 12月以降の主な事業

- ・韓国旅行社マスコミ等を招請（12月13日～15日：大分、佐賀）
- ・「情熱祭り！まるごと九州～X'mas大観光展～」の開催（12月14日～15日：広島）
- ・九州各県担当者会議（12月18日：福岡）
- ・九州教育旅行現地視察会（12月21日～23日：福岡、大分、佐賀、長崎）
- ・会員旅行社担当者会議（1月15日：福岡）
- ・ひなの国九州フェスタ開催（1月15日～26日：福岡（九州国立博物館））
- ・観光プロモーション in 羽田空港出展（1月17日～19日：東京）
- ・「第7回九州観光ボランティアガイド大会 in 長崎」（1月20日～21日：長崎）
- ・「JSTA観光・地域づくり委員会 in 九州」の開催（1月24日：福岡）
- ・目黒雅叙園「九州ひな紀行」出展（1月24日～3月3日：東京）
- ・九州・沖縄観光物産展出展（1月25日～26日：大阪）
- ・「第3回おもてなしフォーラム in 九州」（2月24日：熊本）

○ 年末ご挨拶

本年も余すところわずかとなりました。皆様におかれましては、九州観光推進機構の事業運営にご理解、ご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、九州観光を取り巻く環境につきましては、国内観光では主要観光施設入場者数、主要ホテル稼働率等の観光関連指標は前年比連続プラスが続き、好調を維持しています。海外からの観光客については、昨年9月の尖閣列島や竹島を巡る中国・韓国との関係悪化にも関わらず、九州への入国外国人数はアジアを中心に過去最高の昨年（115万人）を上回る勢いで推移しています。

また、4月から九州とヨーロッパを結ぶ初めての定期直行便KLMオランダ航空 福岡ーアムステルダム線の就航を契機に欧州での九州観光をPRしましたが、搭乗率が高いこともあり、来年4月からの増便が予定されるなど、アジア以外からの誘客にも新たな兆しが見られます。中国・韓国からの観光客が回復してくれば、更なる上積みも期待できます。

来年度から機構は、これからの10年を「観光産業を九州の基幹産業にする10年」と位置づけ、「第二期九州観光戦略」（2014年度～2023年度）をスタートします。組織も法人化し、一般社団法人へと移行します。

機構としましては、新たな組織での新たな戦略のもとで、九州への更なる誘客を推進していきたいと考えています。来年も機構の取り組みについて、ご助言となお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

なお今年、ユネスコの世界文化遺産の国内推薦候補選びに「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」と「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の九州ゆかりの2件が挙げられていましたが、産業革命遺産が候補となり、2015年の審査・登録に向けて動き出しました。キリスト教関連遺産についても来年以降の推薦を強く要望し、九州観光に弾みがつけばと願っています。

最後になりましたが、来年が皆様にとって一層のご発展とご多幸の一年となりますよう、機構職員一同祈念いたしております。

◆ 事務局より

活動レポートの送付先(住所・代表者等)に変更がある場合は、下記までご連絡下さい。

◇◇お問い合わせ先◇◇

九州観光推進機構 企画部 佐藤

福岡市中央区渡辺通 2-1-82 電気ビル共創館 7F

TEL:092-751-2943 FAX:092-751-2944